

目標達成計画

作成日：令和 4 年 8 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回の総合防災訓練(夜間想定)・風水害想定訓練・地震想定訓練・緊急連絡網訓練・誘導訓練等を実施しているがコロナ禍において訓練には、地域消防団の参加は得られていない。非常用備蓄品として水・米・カセットボンベ・缶詰類等が準備されている。年2回の夜間想定訓練において近隣の職員(4名)が駆けつけ避難誘導を手伝う事を想定して訓練を実施しているが駆けつける事が困難な場合もあると思われるため夜勤者2名での訓練を実施する。	夜勤従事者9名は各ユニット毎1名ずつ夜間想定しての訓練(自分は何が出来るのか、何をすべきかを考えながら)を行う。	年度内の消防計画の緊急連絡網訓練を夜勤者2名1組での夜間想定訓練をユニット会議時に行う。救助者が駆けつけるまで各自、何が出来るのか、何をすべきかを考えながら訓練を行い、その後、職員みんなで訓練の動き、流れを話し合い議事録に記録として残す。	5ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。